

# 熱風

～どんな時でも どんな場合でも どんな事にでも～

2年学年通信 No.38 1月25日(水)

## 【 職業人体験学習を終えて 】

職業人体験学習を終えて、2年生はお世話になった事業所の方々へお礼の手紙を書きました。はじめて「働く」ことを体験し感じたこと、教えていただいて嬉しかったこと、苦労したことなど、心に残ったことを3日間の活動に感謝の気持ちを込めて記しました。手紙を書いているみんなの表情はどこか晴れやかで、頑張って良かったという気持ちが伝わってくるようでした。

昨日は職業人体験学習のふり返し集会を体育館で行いました。職業人体験に向けてこれまで取り組んできた「マナー講座」や「事前訪問前に電話をかけた時の様子」そして「事前訪問」などの様子、そして3日間の全事業所の活動の様子をスライドショーでふり返し、学年の仲間がどんな表情で働いてきたのかをふり返りました。事業所ごとの制服や作業着など、ふだんと違った姿で活動に取り組む仲間の様子を笑顔で、時には笑いもあり、楽しくふり返ることができました。今一度この3日間の活動を今後の学校生活に生かしていけるように、さらなる自分磨きに励んでほしいと思います。



心をこめて丁寧に感謝の気持ちを手紙に



担任の先生による点検にも熱が入ります

## 【 予餞会に向けて拡大評議会 】

23日(月)に学年生徒会も参加した拡大評議会が行われました。今回多くの生徒が参加したのは予餞会に向けての方針を確認し、各学年の取り組みをお互いに知ること、1・2年生の気持ちを一つにしていけるようにというねらいがあったからです。

評議会では、生徒会長が予餞会の意味について語りました。「予餞会=あらかじめ、餞別の準備をし、送る会」この予餞会の意味を岩中生全員が理解し、3年生への想いをこめて参加してほしい。そんな熱い気持ちが語られました。卒業式に参加することができない在校生にとって予餞会が3年生に感謝の気持ちを伝えられる最後の機会になります。感謝の気持ちを伝えるとともに、3年生が安心して卒業していけるように、最高学年になるという自覚と決意を示してほしいと思います。

